



なすちくたなばたけ
那須地区棚畑・景観保全推進協議会（甘楽町）

- 秋畑那須地区は、山間部の平坦な土地を持たない地域であり、段々畑の棚畑によりたくさんの野菜が栽培されており、また、昔から蕎麦作りが盛んである。
- 那須地区には「ちいじがき」と呼ばれる石垣が段々畑だけではなく家の土台など、那須地区のいたるところにあり、独特の山村景観を形成している。ちいじがきは鎌倉時代後半から築かれていたと言われており、長い歴史を有している。
- 今後も農業振興や地域の活性化を図るとともに、独特の山村景観を維持していくために農道や「ちいじがき」などの整備や保全管理が必要となってくる。

地区の概要

山間農業地域

取組面積	4.0 ha (畑 4.0 ha)
資源量	農道 0.9 km
主な構成員	農業者、非農業者
交付金	約 20 万円
〔 農地維持支払 資源向上支払（共同、長寿命化） 〕	

推薦項目

<input type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input checked="" type="checkbox"/> 行政と連携
<input checked="" type="checkbox"/> 地域交流	<input type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input type="checkbox"/> 広報
<input checked="" type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 工事
<input type="checkbox"/> 遊休農地解消	

取組内容

- 草刈り、側溝の泥上げ、鳥獣害防護柵の維持管理などを実施している。
- 農道や「ちいじがき」の維持補修を行うことにより農地や景観が保全されている。
- 毎年、県指定重要無形民俗文化財である「那須の獅子舞」を多くの観光客の前で披露し、地域の活性化を行っている。

取組の効果

- 本活動により、地域の意識が高まり、地域に一体感が生まれた。
- 近年高齢化が進む那須地区において遊休農地の増加を防いでいる。
- 毎年多くの観光客が那須地区を訪れ、那須地区の山村景観を楽しんでおり町の観光資源となっている。



◇ 「ちいじがき(石垣)」による独特な山村景観を共同活動により維持



◇ 伝統文化の伝承「那須の獅子舞」披露